

初雪山

登山地：富山県下新川郡朝日町 なべくらやま 鍋倉山、おおちやま 大地山、はつゆきやま 初雪山

目的：積雪期限定の山へ登る

日程：平成 27 年 5 月 2 日～5 月 3 日

人員： L:石津、やまたくお

5 月 2 日(土) 晴れ

梶海新道を北上中、犬ヶ岳の西側に雪を纏った大きな山が見える。これが「初雪山」である。標高 1595.6m、2000m に満たない山であるが白くて堂々たる風格がある山容である。この山には登れるのかと調べてみると、登山道はなく積雪期にしか行けない山ということがわかり、GW では登山時期として遅めであるが挑戦してみることにした。

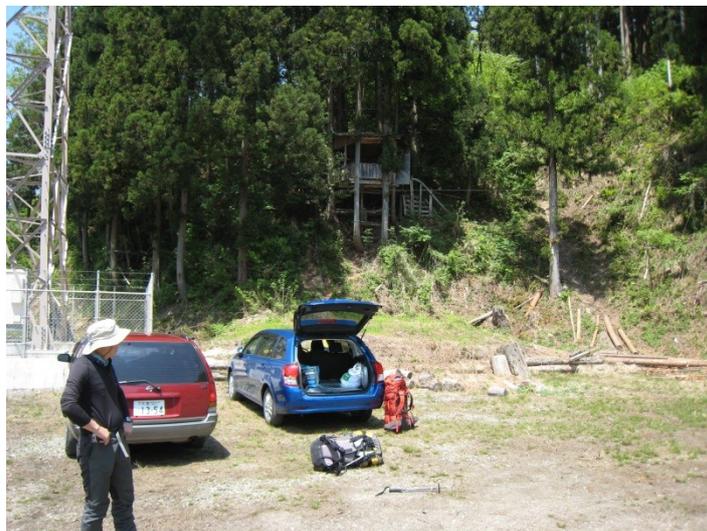


2010 年 5 月 3 日 11:34 梶海新道より初雪山を望む

登山口は夢創塾(グリーンツーリズムとやま・自然体験学校)の駐車場だ。駐車スペースの右側に大地山登山口を示す看板があり(地面に落ちていた)上から 20m ぐらいのロープが垂れていた。夢創塾は留守で、駐車許可が得られずしばらく待ち、登ってきた関係者と思われる草刈りの人に駐車のを伝えて入山した。

最初からいきなりロープを掴んでの急登となり、その急登が鍋倉山(796.1m)まで続く。鍋倉山山頂は小さな雪原となっていて、この付近から積雪が増え始める。希に現

れる赤テープと先行者の踏み跡をたよりに進むが、藪と残雪でしばしば道を見失ってしまう。登山道は大地山まで続いていることは収集済みであるがそれにしても荒れている。それでも、間近に見える富山湾、毛勝、朝日、劔など、残雪の峰々が輝いていくから見ても飽きることはない。本日の目標地点は大地山手前の標高 900m 付近の平地である。3 時間半歩いて尾根上の林に幕営、飲んで食べて 18 時消灯。山の夜は早い。



夢創塾駐車場 11:44

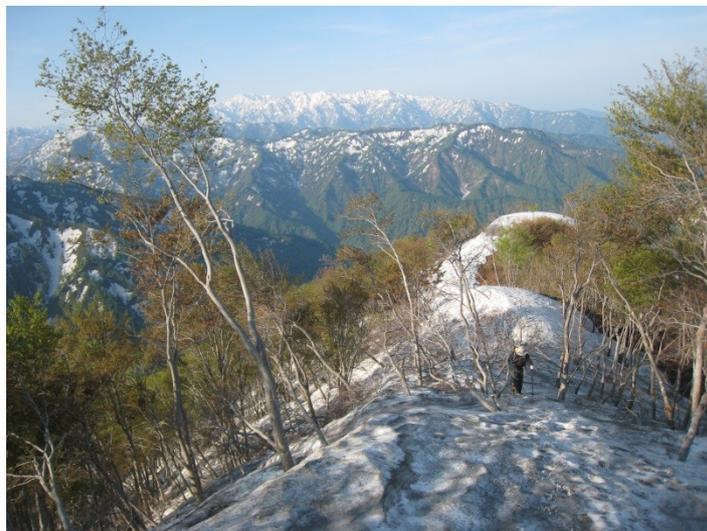


林の中の幕営地点 15:53

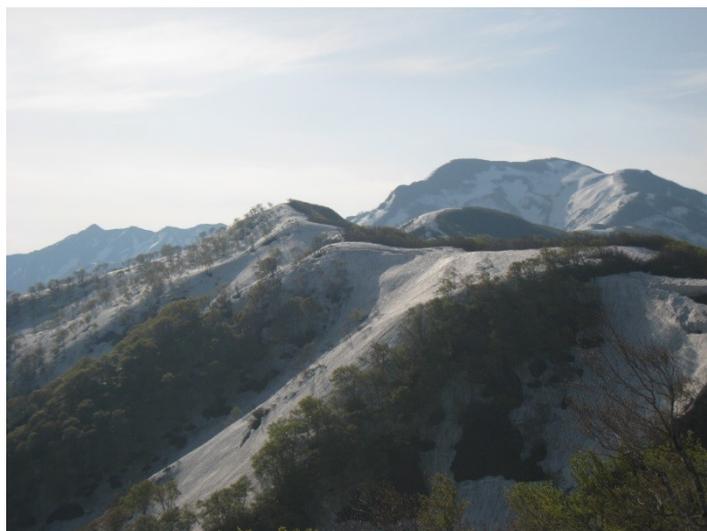
コースタイム : 浜松細江(4:00)ー富山県下新川郡朝日町夢創塾駐車場 200m(11:45)
ー鍋倉山 796.1m(不明)ー幕営地点 930m 付近(15:40)

5月3日(日)晴れ

4時過ぎ起床、10時間の睡眠。夜は風も無く静かでまったく寒くなく、テントの張り綱が緩んでいた。たっぷりと朝食を取り5時半出発。まずは大地山を目指す。尾根の右端に登山道があり、高度を上げるにつれ積雪が増えてくる。1100m付近の狭い尾根でアイゼンを付け、一登りして大地山の山頂に立った。



大地山への登り・・・後ろは毛勝 6:51



大地山から初雪山・・・遠い 7:09

山頂には空のテントが一張り、初雪山に向かっているようである。ここからは南東方向に稜線伝いに初雪山を目指す。ここから大きなピークで6番目、広い稜線は問題

ないが、狭く雪庇が大きく崩壊している場所は限りなく怪しい。予想以上に積雪が少なくあちこちで藪が露出している。



藪を迂回して谷を登り返す 7:32



道が無い、正面の藪へ突入 8:14



真新しいツキノワグマの足跡 9:29

稜線上の樹木は雪で押しつぶされ枝が放射状に広がり、幹に向かって進む場合は、枝が自分に向かって生えている。もの凄く厄介で全身が枝に引っかかりまったく進まない。10mの藪を抜けるのに10分以上、山頂を踏めるのか不安になる。タイムリミットを11:00として激藪に突っ込む。

熊の足跡を見て直に3人パーティが降りてきた。大地山のテントのパーティだ。熊に遭遇したこと、気温が高く雪庇が崩壊しそうなことなど情報をいただいた。やはり先程の足跡は今朝のものようだ。



初雪山山頂 11:01



梅海新道、犬ヶ岳は近い 11:03

藪と崩壊した雪庇、クレパスにおびえながらタイムリミットの 11:00 に初雪山に到達した。東側の直近に梅海新道の犬ヶ岳が迫っている。目視で人が見えそうな距離である。犬ヶ岳はここよりも更に雪が少なく黒い。フルーツ缶詰で登頂を祝い、誰も居ない山頂を満喫した。

梅海パーティは今日、雪倉岳を越え朝日岳に向かっているはずである。頑張っていることを期待して 12 時の交信準備をして山頂を後にした。11 時 50 分ころから無線を開け何度か交信するがまったく反応が無い。鳥海山山頂の電波は拾うのに目の前の朝日岳は繋がらないのか。しばらく開けっ放しにして先を急いだ。(後日無線が繋がらない理由は確認できたのだが・・・・・・)



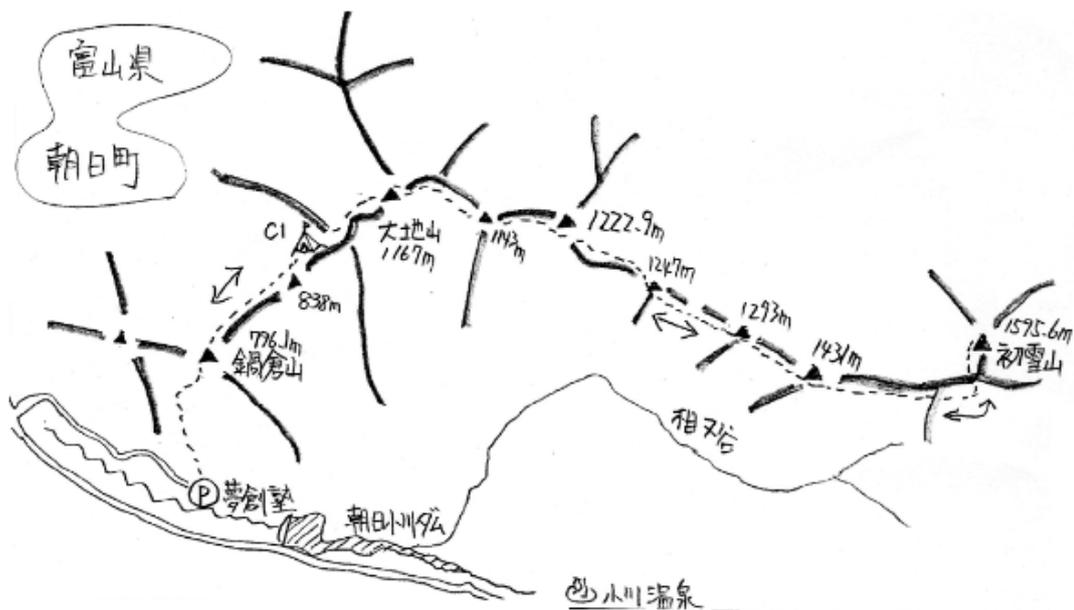
藪の海を泳ぐ 13:11



やっと藪から脱出できた 13:17

暑くて水の消費が激しく、二人とも雪をペットボトルに詰め飲料水を確保し、雪を口に含みながら進む。この暑さは誤算であり、行動食も咽を通らず血糖値が下がる。何とか日没までには下山したい。幕営地点から山頂まで5時間半、下りは4時間とみて進むが一向にはかどらない。朝よりもかなり雪が緩んでいて雪庇が怖い。大地山へ14:40到着、この分だとテントに16時か……。広い尾根の下りは迷いやすく、何度かルートを見失い間違えて登り返す。何とか16時にテントに帰着。予備日を使ってここで一泊すればのんびりできるのだが、明日は雨の予報。鍋倉山からの激下りは雨では無理。行動食を無理矢理詰め込んで下山開始。激下りをやっつけて 暗くなる寸前の18:40下山した。

積雪期限定の山は、その年の積雪量によって難易度が変わる。ヤマレコ等で過去の記録をみるとほとんどは3月から4月初旬のものが多い。やはりGWでは遅すぎるようである。稜線上の藪も雪庇も積雪が多ければ問題なく進めるであろう。富山労山の記録を見ると3月に山スキーで周遊している。浜松からはかなり遠い山であるが、富山県、朝日町の名峰「初雪山」を是非踏んでいただきたい。



コースタイム : 幕営地点(5:30)－大地山(7:00)－初雪山(11:00)－大地山(14:40)－
幕営地点(16:00)－夢創塾駐車場(16:40)

(石津 記)